



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

神戸市外国語大学データ集

データでみる神戸市外大

2023 年度



【目次】

0	概要	1
1	歴史	2
1-1	沿革	2
1-2	歴代学長	3
1-3	累計卒業生数	3
2	教育	4
2-1	学生数	4
2-2	入試実施状況	5
2-3	出身地域別入学者割合	6
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	7
2-5	就職状況	8
2-6	資格等取得状況	9
2-7	語学運用能力の成長	11
2-8	課外活動状況	13
3	研究	17
3-1	科学研究費助成事業	17
3-2	学術論文	21
3-3	研究支援事業	25
4	国際交流	26
4-1	留学状況	26
4-2	国際交流協定	31
5	地域貢献・地域連携	33
5-1	地域行政、団体などとの協力	33
5-2	市民講座・公開講座等	34
5-3	学生ボランティア活動	35
6	教職員	36
6-1	教員数	36
6-2	職員数	36
7	財務状況	37
8	図書館	38

※このデータ集は、原則として前年度（2022年度）時点での状況をまとめているが、一部2023年度の情報が記載されている項目もある

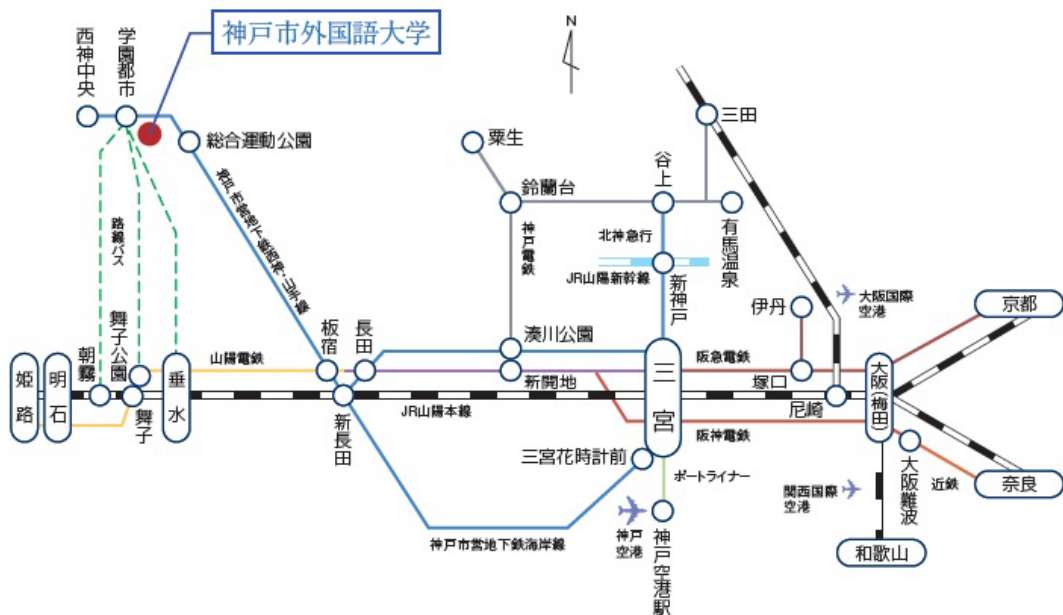
0 概要

■大学名称 神戸市外国語大学
英語名 : Kobe City University of Foreign Studies

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980 m²
校舎面積 : 20,100 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部 (学部)	外国語学部	英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科
	外国語学部	第2部英米学科
(大学院)	外国語学研究科	英語学専攻 ロシア語学専攻 中国語学専攻 イスパニア語学専攻 国際関係学専攻 日本アジア言語文化専攻 英語教育学専攻 文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学に昇格（外国語学部英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を設置
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を設置
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を設置
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 学部に総合文化コースを設置
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）と
単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 学部に国際コミュニケーションコースを設置
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 大学院外国語学研究科修士課程に、論文、課題研究の2コースを設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 第2学舎増築（スチューデントcommons新設）
- 2019 第3期中期計画スタート
- 2021 学部に語学文学、国際法政、経済経営、多文化共生、リベラルアーツの5コースを設置
- 2023 神戸市立工業高等専門学校と同一法人下での一体運営を開始

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 栄一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～2021.3.31
	田中 悟	2021.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部（2023年3月31日現在）

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	8,011
	ロシア学科	2,310
	中国学科	2,690
	イスパニア学科	2,106
	国際関係学科	2,612
外国語学部第2部 英米学科		5,905
合計		23,634

■大学院（2023年3月31日現在）

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	298
	ロシア語学専攻	49
	中国語学専攻	56
	イスパニア語学専攻	71
	国際関係学専攻	185
	日本アジア言語文化専攻	232
	英語教育学専攻	136
合計		1,027
博士課程	文化交流専攻	91
合計		1,118

※博士課程（文化交流専攻）における数値は、博士の学位授与数

2 教育

2-1 学生数

■学部

※2023年5月1日現在

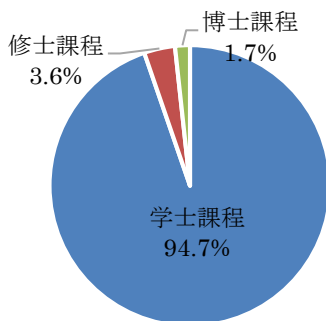
学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計					
外国語学部	英米学科	560	142	42	100	149	41	108	203	69	134	195	68	127	689	220	469
	ロシア学科	160	45	23	22	46	20	26	40	20	20	64	22	42	195	85	110
	中国学科	200	56	10	46	48	11	37	70	16	54	59	10	49	233	47	186
	イスパニア学科	160	49	14	29	44	14	30	49	19	30	59	21	38	195	68	127
	国際関係学科	320	86	27	59	90	25	65	103	24	79	125	39	86	404	115	289
	学部計	1400	372	116	256	377	111	266	465	148	317	502	160	342	1716	535	1181
外国語学部 第2部英米学科	320	84	28	56	96	38	58	99	44	55	105	42	63	384	152	232	
合計	1720	456	144	312	473	149	324	564	192	372	607	202	405	2100	687	1413	

■大学院

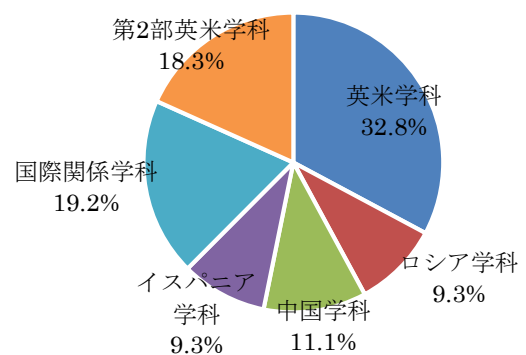
※2023年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計					
修士課程	英語学専攻	20	3	2	1	8	3	5	/	/	/	/	11	5	6		
	ロシア語学専攻	10	1	1	0	1	1	0	/	/	/	/	2	2	0		
	中国語学専攻	10	2	1	1	5	5	0	/	/	/	/	7	6	1		
	イスパニア語学専攻	10	0	0	0	1	0	1	/	/	/	/	1	0	1		
	国際関係学専攻	20	2	1	1	8	5	3	/	/	/	/	10	6	4		
	日本アジア言語文化専攻	24	9	3	6	20	7	13	/	/	/	/	29	10	19		
	小計	94	17	8	9	43	21	22	/	/	/	/	60	29	31		
	英語教育学専攻	20	5	3	2	14	5	9	/	/	/	/	19	8	11		
合計	114	22	11	11	57	26	31	/	/	/	/	79	37	42			
博士課程	文化交流専攻	36	7	5	2	7	2	5	24	12	12	/	/	/	38	19	19
合計	150	29	16	13	64	28	36	24	12	12	/	/	/	117	56	61	

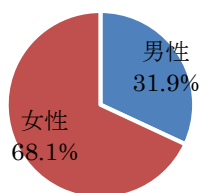
課程別学生数（学士・修士・博士）



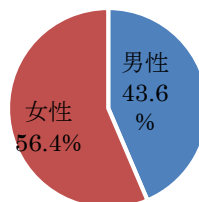
学科別学生数（学部）



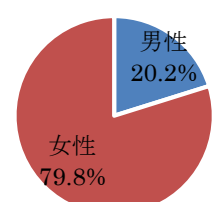
英米学科



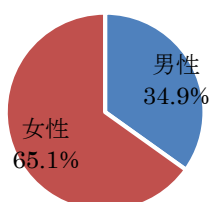
ロシア学科



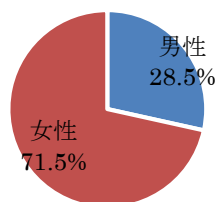
中国学科



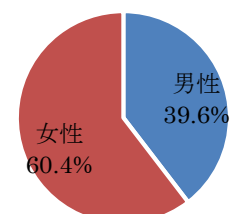
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科

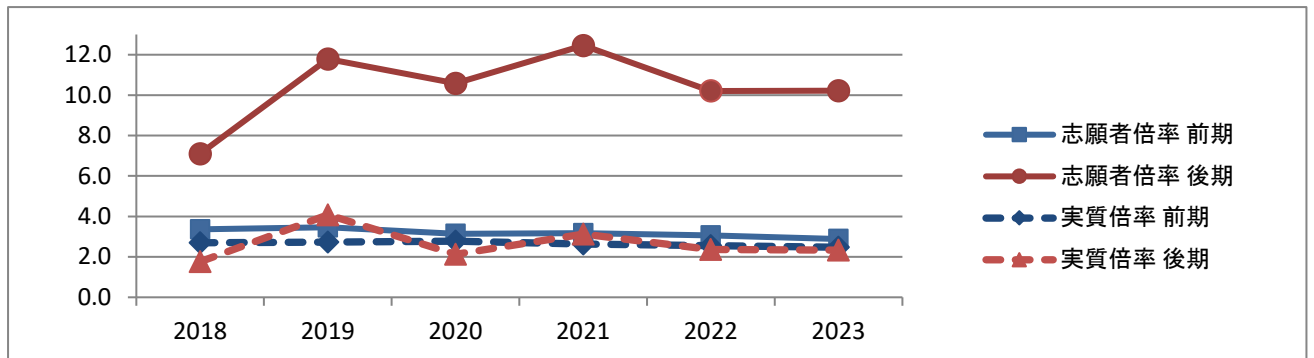


2-2 入試実施状況

■2023 年度入学試験実施状況（2022 年度実施）

学部 学科別	入試区分		募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数	志願者倍率 B/A	競争率 C/D	昨年度 競争率	
			人	人	人	人	人	倍	倍	倍	
学 部	英米 学科	総合型	総合型	7	46	46	7	7	6.6	6.6	4.6
		学校推薦	市内枠	7	20	20	8	8	2.9	2.5	2.0
			全国枠	9	63	63	9	9	7.0	7.0	5.6
		一般選抜	前期	91	232	217	99	94	2.5	2.2	2.8
			後期	26	219	46	26	22	8.4	1.8	2.4
	特別選抜	帰国	若干名	3	2	2	1				
		外国人		0	0	0	0				
	ロシア 学科	総合型	総合型	3	3	3	2	2	1.0	1.5	2.0
		学校推薦	市内枠	2	1	1	1	1	0.5	1.0	1.0
			全国枠	2	6	6	3	3	3.0	2.0	2.0
		一般選抜	前期	26	62	59	27	26	2.4	2.2	2.5
			後期	7	63	18	10	9	9.0	1.8	2.5
	特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0				
		外国人		0	0	0	0				
	中国 学科	総合型	総合型	3	9	9	2	2	3.0	4.5	4.0
		学校推薦	市内枠	3	8	8	3	3	2.7	2.7	1.7
			全国枠	2	12	12	4	4	6.0	3.0	3.7
		一般選抜	前期	33	96	89	35	33	2.9	2.5	1.6
			後期	9	83	17	10	10	9.2	1.7	1.8
	特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0				
外国人			0	0	0	0					
イスパニア 学科	総合型	総合型	3	14	14	2	2	4.7	7.0	6.0	
	学校推薦	市内枠	2	7	7	1	1	3.5	7.0	3.0	
		全国枠	2	9	8	3	3	4.5	2.7	4.3	
	一般選抜	前期	26	72	67	28	24	2.8	2.4	2.6	
		後期	7	125	37	11	11	17.9	3.4	1.6	
特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0					
	外国人		1	1	0	0					
国際関係 学科	総合型	総合型	9	48	46	8	8	5.3	5.8	3.6	
	学校推薦	市内枠	4	11	11	4	4	2.8	2.8	2.5	
		全国枠	4	35	35	5	5	8.8	7.0	9.8	
	一般選抜	前期	49	151	144	52	49	3.1	2.8	2.8	
		後期	14	218	51	16	16	15.6	3.2	3.3	
特別選抜	帰国	若干名	2	2	2	1					
	外国人		1	1	0	0					
学部計	総合型	総合型	25	120	118	21	21	4.8	5.6	4.0	
	学校推薦	市内枠	18	47	47	17	17	2.6	2.8	2.1	
		全国枠	19	125	124	24	24	6.6	5.2	5.5	
	一般選抜	前期	225	613	576	241	226	2.7	2.4	2.6	
		後期	63	708	169	73	68	11.2	2.3	2.4	
特別選抜	帰国	若干名	5	4	4	2					
	外国人		2	2	0	0					
第2部 英米学科	総合型	総合型	2	7	7	2	2	3.5	3.5	2.5	
	学校推薦	市内枠	4	7	7	4	4	1.8	1.8	1.0	
		全国枠	40	151	142	49	47	3.8	2.9	2.4	
	一般選抜	前期	15	89	37	15	13	5.9	2.5	2.4	
		後期	19	26	26	17	16	1.4	1.5	1.3	
特別選抜	社会人										
	外国人										
合計	総合型	総合型	27	127	125	23	23	4.7	5.4	3.9	
	学校推薦	市内枠	22	54	54	21	21	2.5	2.6	1.9	
		全国枠	19	125	124	24	24	6.6	5.2	5.5	
	一般選抜	前期	265	764	718	290	273	2.9	2.5	2.6	
		後期	78	797	206	88	81	10.2	2.3	2.4	
	特別選抜	社会人	19	26	26	17	16	1.4	1.5	1.3	
		帰国	若干名	5	4	4	2				
	外国人										
	総合型	小計	27	127	125	23	23	4.7	5.4	3.9	
学校推薦	小計	41	179	178	45	45	4.4	4.0	3.8		
一般選抜	小計	343	1561	924	378	354	4.6	2.4	2.5		
特別選抜	小計	19	33	32	21	18	1.7	1.5	1.3		
			430	1900	1259	467	440	4.4	2.7	2.7	
大学	修士課程		57	39	35	22	21	0.7	1.6	1.4	
院	内 英語教育学専攻		10	5	5	5	5	0.5	1.0	2.0	
院	博士課程		12	12	11	8	7	1.0	1.4	1.1	

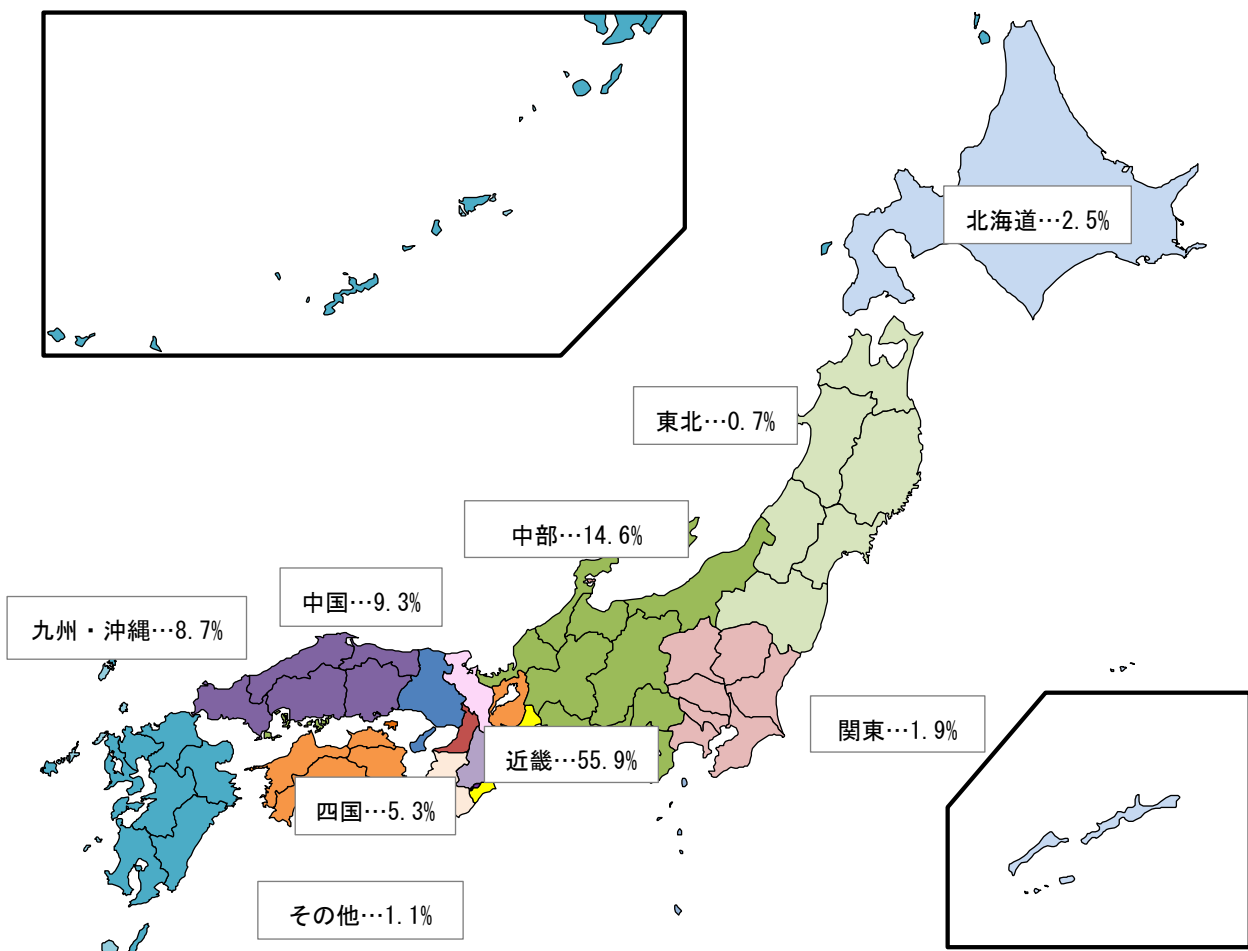
■ 志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



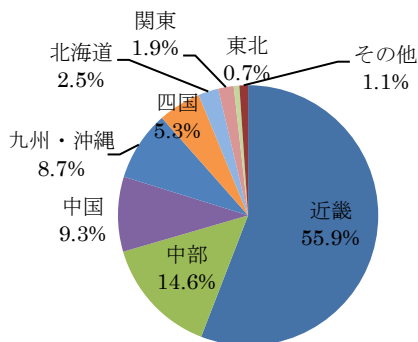
※入試年度は、受験生が入学する年の西暦で表記（2023は2022年度に実施した入試を指す）

2-3 出身地域別入学者割合

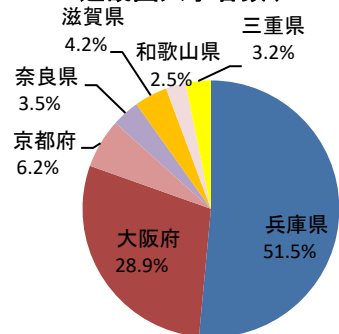
■ 過去6年間（2017～2022年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）



地域別入学者数（2017～2022）



近畿圏入学者数（2017～2022）

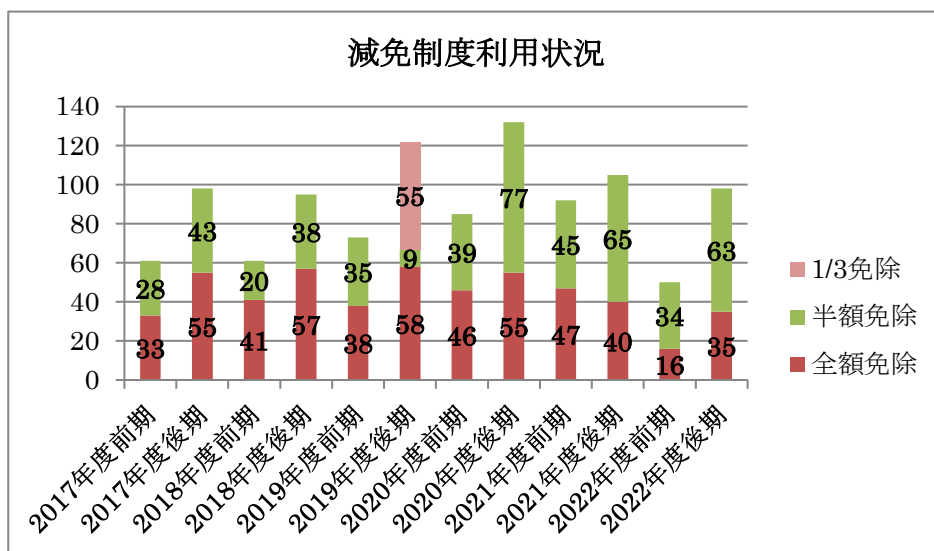


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に対する奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉強したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■授業料減免制度

学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額等を免除するもの。

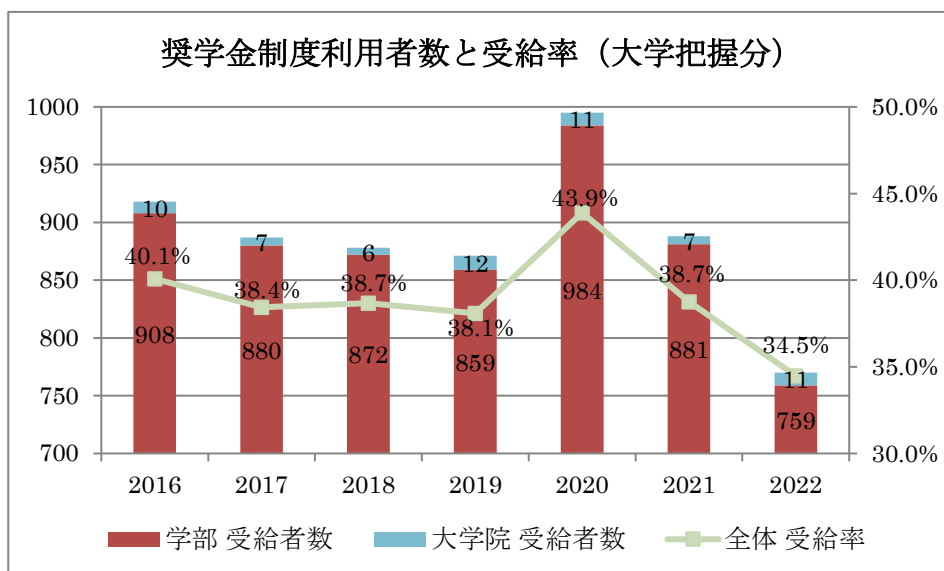


※2019年度後期については予算上限の関係上、留学生の授業料を3分の1の免除とした。

■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構のものをはじめとする各種制度がある。

※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。

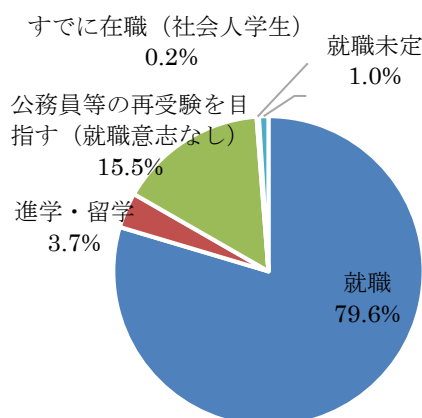


2-5 就職状況

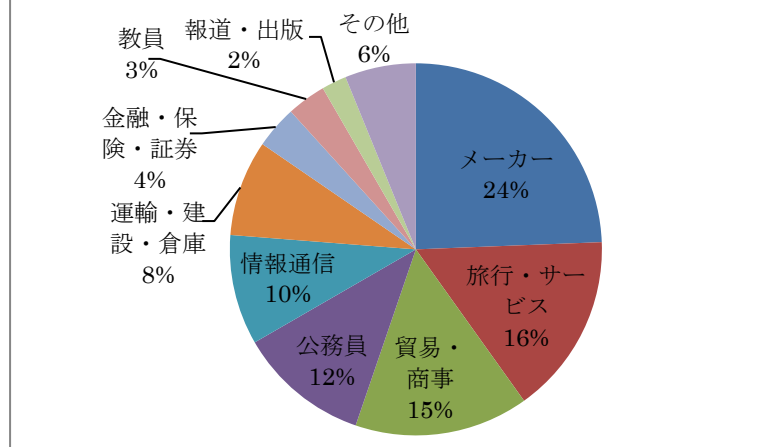
■学部卒業生の学科別進路状況（2022年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員 等の再 受験を 目指す (就職 意志な し)	すで に在 職 (社会 人学 生)	就職 未定
		メー カー	貿易 ・商 事	金融 ・保 険・ 証券	運輸 ・建 設・ 倉庫	報道 ・出 版	情報 通 信	旅行 ・サ ー ビス	公務 員	教員	その 他	合計				
英米学科	136	27	18	2	8	3	9	18	18	2	6	111	7	17	0	1
ロシア学科	39	7	5	2	2	0	2	4	3	2	4	31	1	6	0	1
中国学科	55	12	9	2	6	1	6	6	6	0	2	50	1	4	0	0
イスパニア学科	26	7	3	2	2	1	1	2	0	0	0	18	1	6	0	1
国際関係学科	78	17	8	2	5	2	9	12	5	3	3	66	4	8	0	0
第2部英米学科	73	9	6	2	4	0	4	9	5	4	5	48	1	22	1	1
合計	407	79	49	12	27	7	31	51	37	11	20	324	15	63	1	4

卒業生の進路別割合



2023年3月卒業生の就職業種



■主な就職先（順不同）

- 【メーカー】加メ、山崎製パン、関西ペイント(3)、日東電工、SUMCO、住友大阪セメント、パナソニック、パナソニックエナジー、IHI (2)、NTN (2)、ウチ電機 (2)、マキタ (2)、ナブテスコ (2)、古野電気 (2)、アイコム (2)、キーンズ、システムクス (2)、ローム、タノ、住友ゴム工業 (2)、カガチップス、小松製作所 (2)、ススキ、グッドトリック、神戸製鋼所 (3)、日本無線、村カミクロン、島津製作所、花王プロフェッショナルサービス、沖電気工業 (2)、キノンメカトロシステムズ、日本航空電子工業、金沢村田製作所、関西電力、レオン自動車、大陽日酸、三ツ星ベルト、シンフォアテクノロジー、トカロ、モンベル、日揮ホールディングス、東洋アルミニウム、アックス商事
- 【貿易・商事】富士貿易 (3)、神栄 (2)、東海澱粉、ファーストリテイリング、JFE 商事 (2)、ヤギ (2)、日鉄物産、住友商事グローバルメタルズ、ナフコ、ネクステージ、ニトリ、チュチュアノ、日立ハイテック
- 【金融・保険・証券】野村證券、大同生命保険、三井住友銀行、池田泉州銀行、滋賀銀行、三井住友信託銀行、東京海上アセットマネジメント、J Aバンク和歌山信連、四国銀行
- 【運輸・倉庫】五洋建設、日新、日立物流、近鉄エクスプレス、郵船ロジスティクス、住商グローバルロジスティクス、阪急阪神エクスプレス (4)、日本航空、ANA 大阪空港、神鋼物流、花王ロジスティクス、日本貨物航空、川西倉庫、東急バブル、上組、丸全昭和運輸
- 【旅行・サービス】PwC コンサルティング、ロイヤルホテル (2)、楽天グループ (6)、NOVA ホールディングス、ゼネラルパートナーズ、アクセント、LITALICO、フジアル (2)、日本コンベンションサービス、吉本興業ホールディングス、住友不動産ウイラフロンティア、阪急交通社、星野リゾート
- 【報道・出版・情報・通信】エヌティティ・データ関西、ソフトバンク、時事通信、電通西日本、ソニーミュージックグループ、山口放送、日本ヒューレット・パッカート、ランドコンピュータ、コベルクシステム、キノン IT ソリューションズ、さくらケース、日本タカコンサルティングサービス、BIPROGY (旧：日本ユニシス)、オゾス総研、NEC ソリューションパートナーズ (2)、三菱総研 DCS、トヨタシステムズ
- 【公務員・政府機関等】大阪国税局 (2)、警視庁、防衛省、法務省矯正局、国土交通省東京航空局、兵庫県庁、明石市役所、大阪府警、愛知県警、東京都庁、航空管制官、神戸市役所 (特別枠 1、一般枠 4)、大阪高等裁判所、姫路市役所、大阪市役所 (2)、大阪出入国在留管理局 (4)、奈良・和歌山・津・米子・福岡・佐世保市役所、東京高等裁判所、神戸地方裁判所、兵庫労働局 (2)

2-6 資格等取得状況

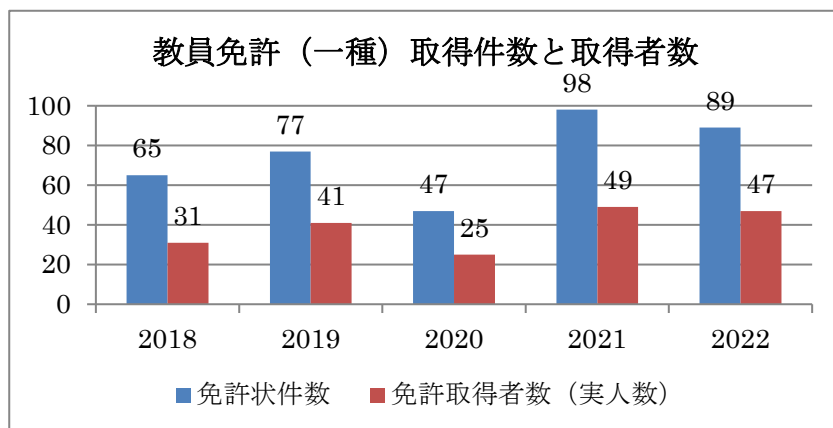
■教員免許

【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

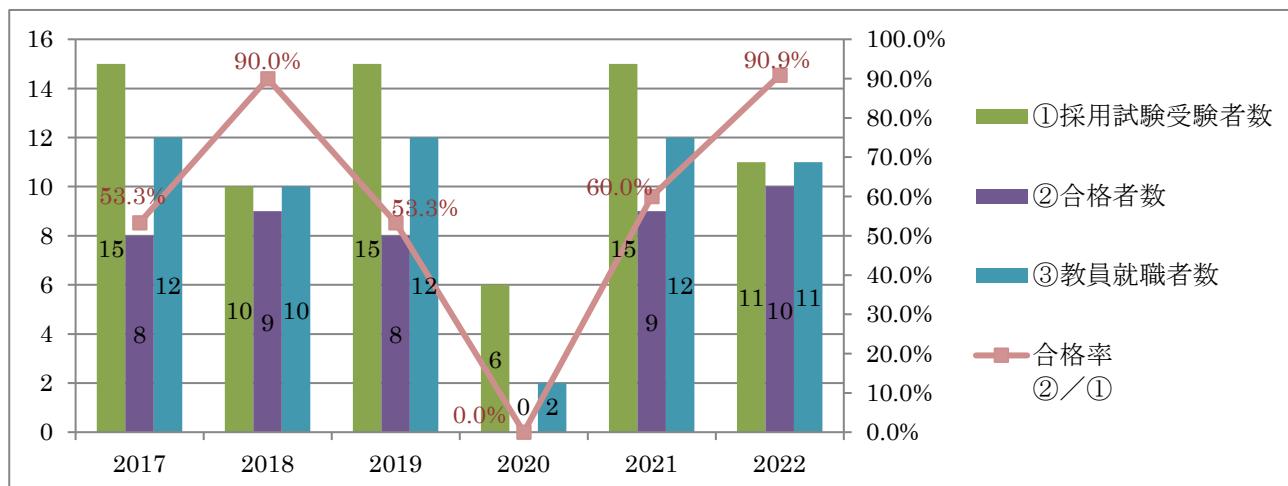
年度		英語							ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部						
2017	中1種	28	15	0	1	0	2	10	0	1	0		29	38
	高1種	38	21	1	1	0	4	11	1	1	0	1	41	
2018	中1種	25	10	1	3	0	2	9	1	3	0		29	31
	高1種	31	14	1	3	1	3	9	1	3	1	0	36	
2019	中1種	30	15	1	2	0	1	11	1	1	0		32	41
	高1種	41	17	1	4	1	4	14	1	2	1	0	45	
2020	中1種	18	6	0	0	3	6	3	0	0	2		20	25
	高1種	25	9	0	2	3	7	4	0	0	2	0	27	
2021	中1種	38	16	3	2	2	9	6	2	2	1		43	49
	高1種	49	25	4	3	2	9	6	3	2	1	0	55	
2022	中1種	38	17	2	2	1	10	6	2	0	0		40	47
	高1種	47	21	2	2	1	12	9	2	0	0	0	49	

	英語		合計
	英語学	英語教育学	
中専免	1	3	4
高専免	2	3	5
中専免	0	3	3
高専免	0	3	3
中専免	2	4	6
高専免	2	4	6
中専免	0	2	2
高専免	0	2	2
中専免	1	4	5
高専免	1	5	6
中専免	1	6	7
高専免	1	6	7

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



※科目等履修生は含まない。

※受験者数、合格者数には私立を含む。

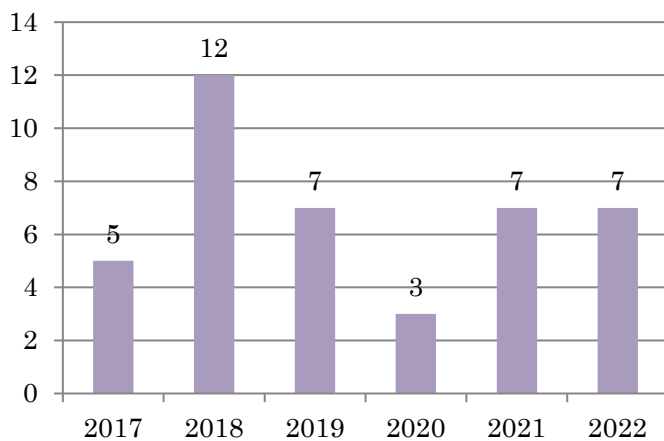
※採用試験合格により就職した者に加え、講師登録により就職（非常勤含む）をした者を含む。

■司書資格

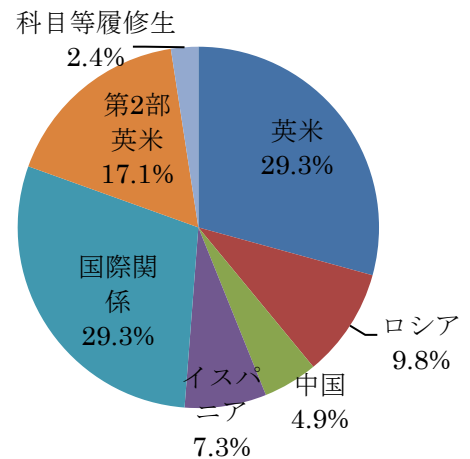
【司書課程修了者数】

資格	学科	2017	2018	2019	2020	2021	2022
司書	英米	3	5	1	0	1	2
	ロシア	0	1	2	0	1	0
	中国	0	1	1	0	0	0
	イスパニア	0	0	1	1	1	0
	国際関係	1	1	2	2	3	3
	第2部英米	1	3	0	0	1	2
	科目等履修生	0	1	0	0	0	0
	合計	5	12	7	3	7	7

司書課程修了者数



学科等別修了者（過去6年間合計）

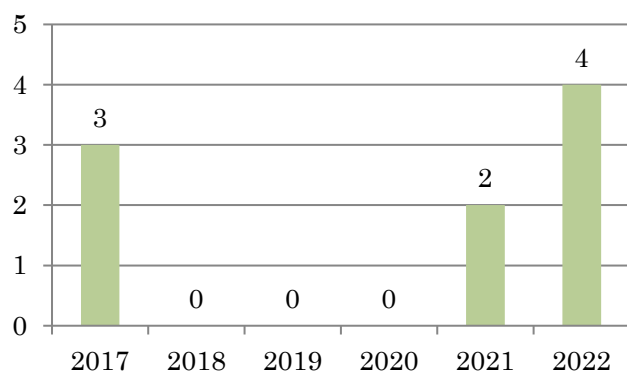


■学校図書館司書教諭資格

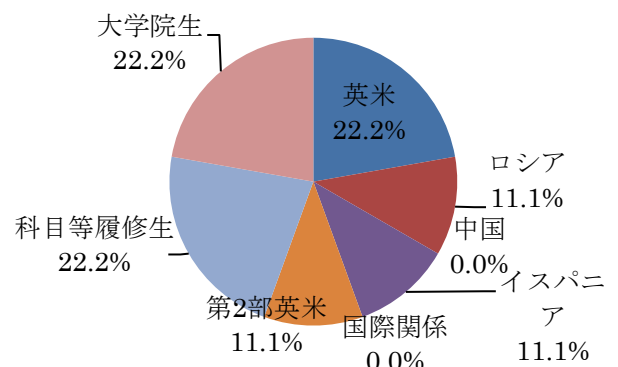
【司書教諭課程修了者数】

資格	学科	2017	2018	2019	2020	2021	2022
学校図書館 司書教諭	英米	1	0	0	0	0	1
	ロシア	0	0	0	0	1	0
	中国	0	0	0	0	0	0
	イスパニア	0	0	0	0	1	0
	国際関係	0	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	0	0	1
	科目等履修生	2	0	0	0	0	0
	大学院生	0	0	0	0	0	2
	合計	3	0	0	0	2	4

司書教諭課程修了者数



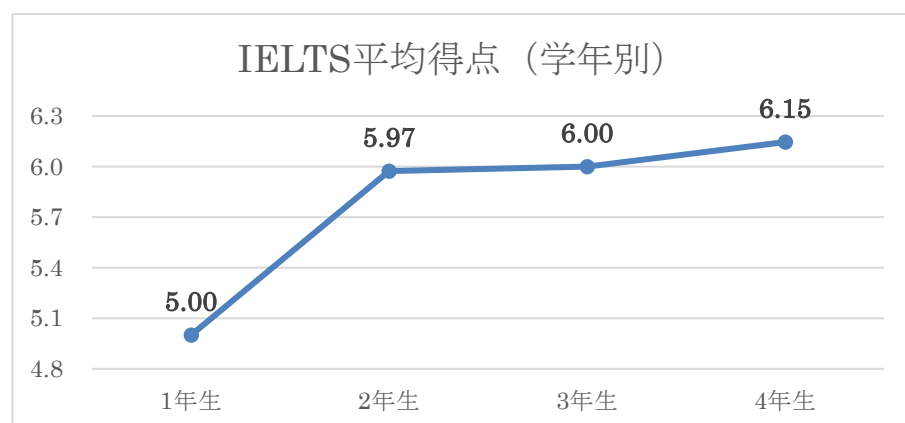
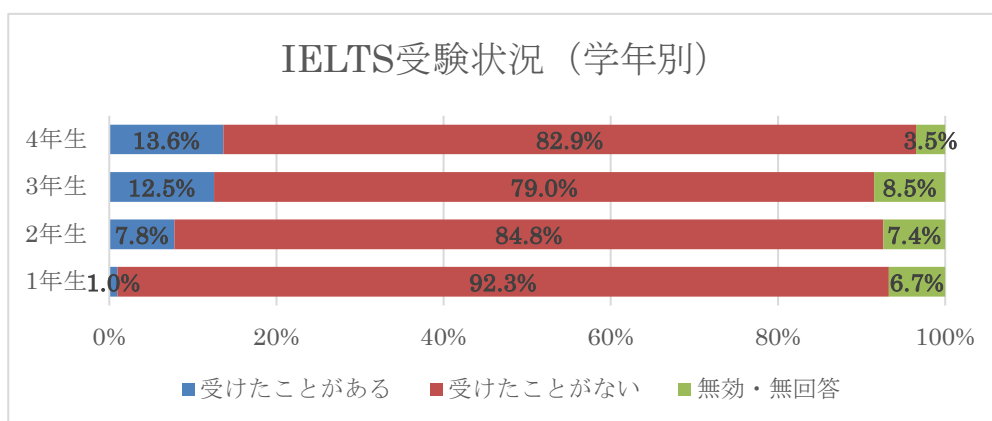
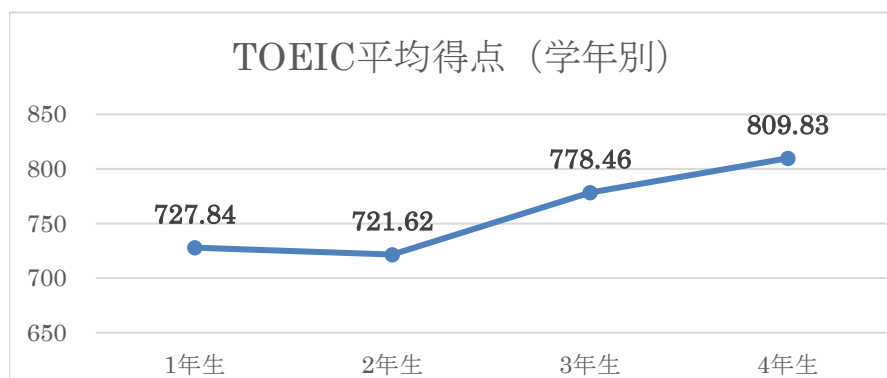
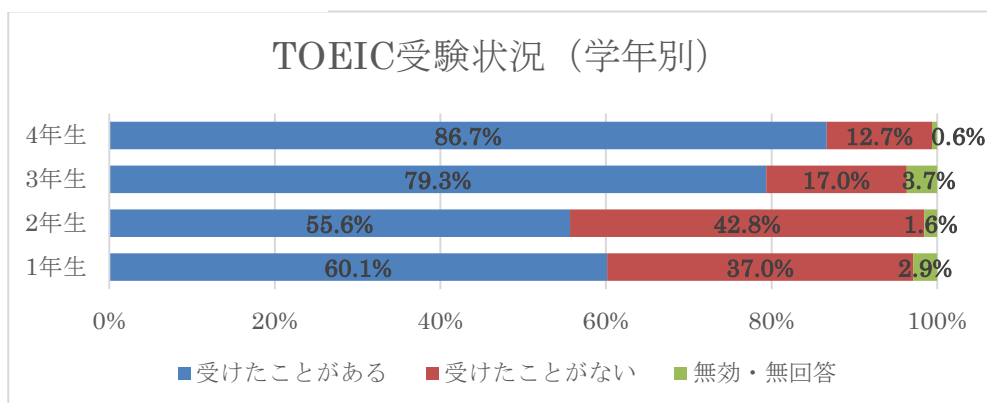
学科等別修了者（過去6年間合計）



2-7 語学運用能力の成長

※2022年11月実施「第4回学生生活調査」より（回収率67.8%） n=1,157

■英語運用能力の伸び



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

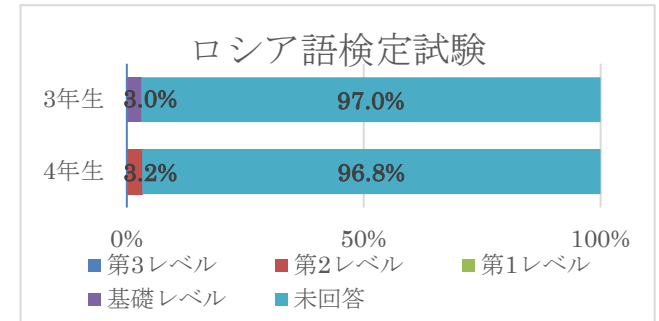
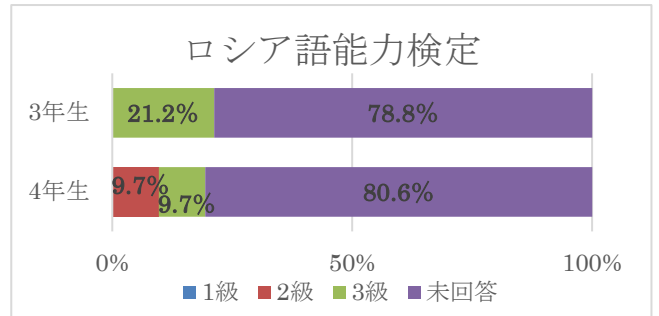
【ロシア学科 3・4 年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1級	2級	3級	未回答	合計
3年生	0	0	7	26	33
4年生	0	3	3	25	31
合計	0	3	10	51	64

・ロシア語検定試験

	第3レベル	第2レベル	第1レベル	基礎レベル	未回答	合計
3年生	0	0	0	1	32	33
4年生	0	1	0	0	30	31
合計	0	1	0	1	62	64



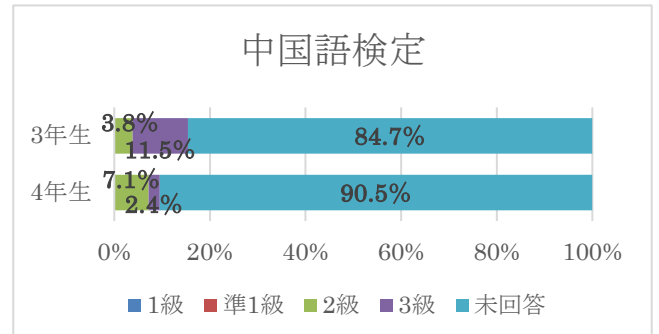
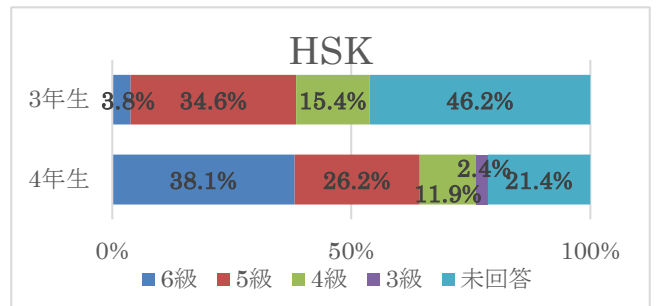
【中国学科 3・4 年生の受験状況】

・HSK

	6級	5級	4級	3級	未回答	合計
3年生	1	9	4	0	12	26
4年生	16	11	5	1	9	42
合計	17	20	9	1	21	68

・中国語検定

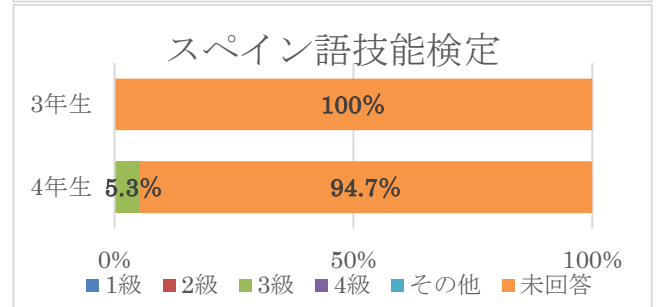
	1級	準1級	2級	3級	未回答	合計
3年生	0	0	1	3	22	26
4年生	0	0	3	1	38	42
合計	0	0	4	4	60	68



【イスパニア学科 3・4 年生の受験状況】

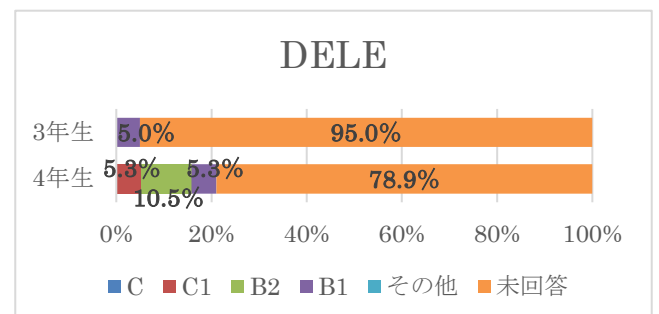
・スペイン語技能検定

	1級	2級	3級	4級	その他	未回答	合計
3年生	0	0	0	0	0	20	20
4年生	0	0	1	0	0	18	19
合計	0	0	1	0	0	38	39



・DELE

	C	C1	B2	B1	その他	未回答	合計
3年生	0	0	0	1	0	19	20
4年生	0	1	2	1	0	15	19
合計	0	1	2	2	0	34	39



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2022年度）

外国語コンテスト等

第16回学生通訳コンテスト

11月26日（土曜）、第16回学生通訳コンテストが名古屋外国語大学にてZoomとウェビナーを使用したオンライン形式で開催され、英米学科4年上山紀子さんが優勝しました。

第3回全日本大学生中国語スピーチコンテスト及び第21回漢語橋世界大学生中国語コンテスト日本予選大会決勝戦

6月18日（土曜）、第3回全日本大学生中国語スピーチコンテストおよび第21回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選大会決勝戦が開催され、中国学科3年の井上太陽さんが特等賞を受賞しました。

第40回全日本中国語スピーチコンテスト兵庫県大会 朗読 大学生の部

第40回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会 朗読 大学生の部

10月15日（土曜）、神戸市教育会館で「第40回全日本中国語スピーチコンテスト兵庫県大会」が開催され、朗読部門において、中国学科2年田中那央さんが1位を受賞し、全国大会においても優秀賞を受賞しました。

第51回全国スペイン語弁論大会

12月3日（土曜）、天理大学で「第51回全国スペイン語弁論大会」が開催され、イスパニア学科4年村井勇輝さんが優勝しました。

模擬国連世界大会ニューヨーク大会

4月3日（日曜）～4月7日（木曜）、ニューヨークで「2022年模擬国連ニューヨーク世界大会」が開催され、国際関係学科4年萩健夫さん／国際関係学科4年HIKITA KEISHA LORAIN SANTOYOさん、国際関係学科4年島本理央さん／国際関係学科4年尾崎 皓子さん、国際関係学科3年松下 巴南さん／国際関係学科2年白井 倭子さんがPosition Paper Awardを受賞しました。加えて、本学代表団は、Outstanding Delegation Awardを受賞しました。

模擬国連世界大会神戸大会

11月20日（日曜）～11月26日（土曜）、神戸で「模擬国連世界大会神戸大会」が開催され、国際関係学科3年松下巴南さん／国際関係学科1年井田豊さん、国際関係学科3年中村大喜さん／英米学科1年阪上七海さんがPosition Paper Awardを受賞しました。

第8回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト

「第8回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト」で修士課程 英語学専攻1年澤田晶子さんと同じく2年ルゼ・アリエさんが課題1で最優秀賞を受賞しました。

スポーツ関係

第 35 回こうべ全国洋舞コンクール

5月5日（木曜）、神戸文化ホールで「第35回こうべ全国洋舞コンクール」が開催され、ロシア学科3年高田美羽さんがクラシックバレエ部門 女性シニアの部で第二位を受賞しました。

第 39 回全日本武術太極拳選手権大会 自選難度競技 女子長拳の部

7月8日（金）～7/10（日曜）、東京体育館で「第39回全日本武術太極拳選手権大会」が開催され、中国学科4年貴田菜ノ花さんが自選難度競技 女子長拳の部で第一位を受賞しました。

2022 年度関西学生バスケットボール

8月30日（火曜）～10月22日（土曜）に開催された「2022年度関西学生バスケットボール4部リーグ戦」において、男子バスケットボール部が最終順位第3位となり、入替戦に勝利したため、3部リーグへの昇格が決定しました。

■全国大学生マーケティングコンテスト（MCJ）

本学の学生を中心とする運営委員会（神戸市外国語大学全国大学生マーケティング・コンテスト運営委員会）が企画・運営する大会で、2011年に始まりました。

地元企業等からテーマの提供を受け、そのテーマに対する具体的なマーケティングプランを、全国から参加する大学生チームが英語で発表し競い合います。大会への参加を通じて、学生の企画力、課題解決力、発信力、英語表現力などの向上を図り、地域の企業等の振興にも貢献することを目指しています。

テーマ（2022年度）

台湾・中国市場における錫（すず）製品の認知・売上拡大に向けてのマーケティング・プラン

テーマ提供

株式会社能作



■語劇祭

本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の5つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

日時（2022年度）

2022年12月17日（土曜） 10時30分～18時00分

2022年12月18日（日曜） 10時30分～15時00分

場所

神戸市外国語大学 小ホール

プログラム

英米語劇団 演目：『“Dealer’s Choice” 「ディーラーズ・チョイス」』（作：Patrick Marber）

レストランのオーナーであるスティーブン、息子のカール、レストランのスタッフたちは毎週日曜日の夜、地下室でポーカーゲームを楽しんでいる。今夜はメンバーが足りずに、息子の友人も加わることに。様々な目的を持ちポーカーをプレイする彼らに待ち受ける運命とは.....。

イスパニア語劇団 演目：『死よりも意外な出来事』（作：Elvira Lindo）

地位と名誉のある主人公ホルヘ。彼には夫である作家のサムエルの他に愛人である女がいた。そんな中、順風満帆に過ごしていたホルヘが常識を覆す嵐のようなメイドのテレにボロボロにされていく... 予想の出来ない展開が待ち受ける！

中国語劇団 演目：『麥克白の悲?』（作：William Shakespeare）

武将・マクベスはある日、友人のバンクォーと荒野で怪しい魔女たちに出逢う。魔女たちは不可思議な予言を残すとたちまち霧のように消えてしまった...！この予言が現実となったことに驚き、マクベスに野心が芽生え始める。事の顛末を知ったマクベス夫人はある計画を企て、マクベスと夫人は宴会の夜に決行する。膨れ上がった野心を抑えきれないマクベスは暴走を始めてしまい.....

ロシア語劇団 演目：『マスカラード』（作：レールモントフ）

賭博師アルベニンと妻ニーナと共に仮面舞踏会に行った。ズベーズジッチ公爵は、同じ舞踏会でシトラリ男爵夫人を口説いていた。やがて公爵は、会場で会ったアルベニンに、男爵夫人からもらった腕輪を自慢する。公爵に見せられた腕輪が、妻ニーナのものだと気づいた賭博師は、公爵と妻が恋仲にあるかもしれないという疑惑を抱き、激しい嫉妬に襲われながら、ある覚悟を決める。

第2部英米語劇団 演目：『reality』（作：Lia Romeo）

恋愛リアリティー番組の裏側ってどうなってるの？彼らは演技しているのか、それとも本当の恋なのか。番組に出演している3人とプロデューサーの間で繰り広げられるちょっと大人でドキドキするお話をどうぞご覧あれ。



劇団賞	最優秀劇団賞	ロシア語劇団
	優秀劇団賞	イスパニア語劇団
主演者賞	最優秀主演役者賞	両川 唯人 (ロシア語劇団 2年 役名: アルペーニン)
	優秀主演役者賞	大澤 秀弥 (イスパニア語劇団 1年 役名: ホルヘ)
助演者賞	最優秀助演役者賞	大柳 智恵子 (中国語劇団 2年 役名: マクベス夫人)
	優秀助演役者賞	澤井 佳佑 (英米語劇団 2年 役名: スティーブン)
若葉賞	最優秀若葉賞	平田 恋奈 (第二部英米語劇団 1年 役名: ジョシュ)
	優秀若葉賞	大澤 秀弥 (イスパニア語劇団 1年 役名: ホルヘ)
ベストキャラクター賞		澤井 佳佑 (英米語劇団・2年 役名: スティーブン)
		山口 ほのか (イスパニア語劇団・2年 役名: テレ)
		大柳 智恵子 (中国語劇団・2年 役名: マクベス夫人)
		両川 唯人 (ロシア語劇団・2年 役名: アルペーニン)
		平田 恋奈 (第2部英米語劇団・1年 役名: ジョシュ)
照明賞		中国語劇団
音響賞		ロシア語劇団
字幕賞		イスパニア語劇団
舞台美術賞		イスパニア語劇団
衣装メイク賞		ロシア語劇団

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2017年度以前に終了した採択研究課題は掲載していない）

【基盤研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2022
感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	2018	2022
環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究	2020	2023
西チベットにおける古チベット語碑文の総合的研究 ～岩石碑文の歴史的意義の再検討～	2020	2024
適性処遇交互作用に基づく英語語彙学習の最適化に向けた指導法データベースの構築	2020	2023
包括型コミュニティ・ポリシング：東南アジアにおける武装組織の社会統合モデル	2020	2022
国際協働による戦後日本思想史の再審：歴史学と思想史の多面体を目指して	2023	2027

【基盤研究（C）】

研究課題名	採択年度	最終年度
バスク語諸方言の文法記述（「親世代」と「子世代」のことばの違いをめぐって）	2014	2018
ロシア語の動詞語形成の包括的記述—複合概念の形成と言語的世界像	2015	2018
強勢・アクセントの型のバリエーションの日英語比較：可能な型の範囲と普遍性	2015	2018
産業ごとの産出の人的資本弾力性の差異と貿易構造に関する動学的研究	2015	2018
ジェームズとハーンのく海を越える語り>：アメリカ帝国主義とトランスナショナリティ	2016	2018
アメリカ文学における核と原爆の言説—人種とエスニシティと環境のポリティクス	2016	2019
現代スペインの諸言語の音声・音韻的現象に関する対比的研究	2016	2018
印欧祖語とラテン語の中間段階がもつ言語特徴について	2016	2019
清代の満漢対訳会話書類に関する総合的研究	2016	2018
チベット・ビルマ語派ルイ語群の未記述方言調査によるルイ祖語の研究	2016	2019
他動性に対する「視点」の作用に関する日中対照研究：認知意味論に基づいた誤用分析	2016	2018
自由貿易協定の政治経済学的分析	2016	2018
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
20世紀中国の文学形式と抒情の定型—ジャンル・言語・地域の越境面から見る	2017	2019
近現代南アジアにおける中下層の消費と社会・文化表象：軽工業製品雑貨の市場の多様性	2017	2019
成熟経済でのバラッサ・サミュエルソン効果の有効性-労働市場の構造変化との関連から	2017	2019
江戸時代の俳諧文化における画家・絵画評価とその画壇への影響の研究	2018	2021
Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"	2018	2020
ロシアの亡命思想家と戦間期の西欧思想	2018	2022
節の切り詰め効果に関する研究：局所性制約に基づく説明の発展・深化に向けて	2018	2022
Building a corpus of ELF (English Lingua Franca) user negotiated interactions	2018	2022
開発と地域住民によるローカリティとアイデンティティの再編に関する人類学的研究	2018	2022
裁判官人事システムの経済学的分析	2018	2022
新出文献に基づく中世チベット仏教伝播後期における空白期間の総合的解析	2019	2021
ヘンリー・ジェームズをめぐる翻訳と解釈—東洋と西洋をつなぐ<新・国際挿話>の創出	2019	2022
言語変化パターン解明に向けた彝文字地図作成及び彝語コーパスの構築と活用	2019	2021
日本語と中国語の結果複合動詞の分析：「視点」と「主観性/主体性」の観点から	2019	2022
現代バスク語諸方言の音韻と文法の記述 ～地域差と世代間差の二つの側面から～	2019	2022
A Genre Analysis Approach to Effective Writing in Multilateral Diplomacy	2019	2022
アンチダンピング関税発動の経済分析：その要因と効果	2019	2022
小学生の言語的課題の解決に向けた日本語学・心理学の連携的研究	2019	2022
中国における情報手段の発達と環境政策への市民参加に関する研究	2019	2022
Linking Vision and Language through Computational Modelling	2019	2023
ロシア・バレエの越境的展開に関する研究と国際的ネットワークの構築及び発信力の強化	2020	2023

オビ川下流域のウラル系少数民族の言語使用実態の研究	2020	2023
近代インドにおける装身品と嗜好品：国内市場志向型低価格商品の勃興とその模造的文脈	2020	2022
因果推論の手法を用いた国際金融の諸問題の影響の解明	2020	2022
投資家の不均一性が情報開示に与える影響に関する理論的研究	2020	2022
現代マレーシアにおけるムスリムの仏教観と宗教多様性—宗教研究者の言説を中心に	2021	2024
ロマン主義詩の引用・借用・援用—英国湖水地方の文化的景観とワーズワス受容の諸相	2021	2024
清代の満洲語文法書類に関する研究	2021	2023
異文化理解のための話し言葉コーパス—国際共通語としての英語で学ぶ現代日本社会	2022	2024
障害児者のアクティブ・エイジングをささえる運動プログラムの開発と社会実装の試行	2022	2025
シェイクスピア演劇と疫病：宮城聡と王景生を中心に	2023	2025
事象の動態的把握と静態的把握をめぐる露日対照言語研究：事象と事物のアナロジー	2023	2025
直進する時間・循環する時間：中国語における“前/后”“上/下”の認知的対立	2023	2025
日本語における節の名詞化と従属節の構造に関する研究	2023	2025
擬似漢字の形成原理を援用した契丹文字・契丹語の研究	2023	2026

【挑戦的萌芽研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
第3言語学習者の言語コントロールと認知コントロールに関する横断的・縦断的研究	2016	2018

【挑戦的研究（萌芽）】

研究課題名	採択年度	最終年度
Asian Women on the Move: Migration, Memory and Gender in Contemporary Performance	2019	2022
日米の相互関係による核イメージの構築・変容・社会的影響に関する研究	2018	2020
意味想起形式による英語語彙サイズ・コンピュータ適応型テストの開発	2022	2024

【若手研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
ドホイ語の言語文化記述の基盤作成	2015	2018
一時帰郷としてのルーツ観光体験が移民子孫の心理に及ぼす影響	2016	2018
出土資料研究によるチベット古代宗教の諸相解明	2017	2019
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

【若手研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
タイ上座仏教海外派遣僧プログラムの布教方針とその英国における実践形態の分析	2018	2022
サイト・トランスレーションに関する理論的・実証的研究	2018	2022
武力紛争に至らない自衛権行使の時間的・事項的範囲	2018	2022
契丹大字と契丹小字の比較に基づく契丹大字表記システムの解明	2018	2022
英米探偵小説における隠れた言葉遊びの使用法	2019	2022
黄金期探偵小説における男性性表象	2019	2022
ベラルーシ共和国のロマ（ジプシー）の方言の記述言語学的研究	2019	2021
宋元代の音韻資料に基づく中国語音韻史の理論的研究	2019	2021
日本人スペイン語学習者の書記コミュニケーションに関する中間言語語用論的研究	2019	2021
脱植民地期フランスの政治主体論—エティエンヌ・バリバルを中心に	2020	2023
新デイヴィッドソン主義事象意味論と項構造の廃止	2020	2021
ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』再考：原爆をめぐる言説形成の視点から	2020	2022
蔡大鼎『欽思堂詩文集』の総合的研究—漢詩文に現れる近世琉球士族の生活・教養・交流	2021	2024
現代スラヴ諸語におけるアスペクトの意味および行為の意味の対照言語学的研究	2021	2025
漢語系諸語の北方基部変種の音韻に関する総合的研究	2022	2024
Video-cued インタビューを用いた英語教師の授業実践に関する教育理解の解明	2023	2026

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
現代中国の文芸一家——王嘯平、茹志鵬、王安憶の文学テキストの総合的検討	2018	2019
ヴォイヴォディナ・ルシン語の動詞語彙の意味と語源に関する共時的・通時的研究	2018	2019
対音資料による唐代音韻史の研究—初唐期を中心に	2019	2020
日米における不便宜法廷地の比較法的研究	2021	2022

【特別研究員奨励費】

研究課題名	採択年度	最終年度
台湾オーストロネシア諸語におけるアタヤル語群と西部平原諸語の系統研究	2017	2018
露文資料を用いた近代中国語の研究	2021	2022
近現代イギリスの消費文化と生活協同組合—国際取引と女性たち	2022	2024

【国際共同研究強化（A）】

研究課題名	採択年度	最終年度
変化する警察—軍関係と民主的セキュリティ・ガバナンスの課題	2018	2022

【国際共同研究強化（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
インド北東部の消滅の危機に瀕した言語文化のドキュメンテーション	2019	2022

【研究成果公開促進費（学術図書）】

研究課題名	採択年度	最終年度
〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語—アспект表現のロシア語・日本語対照研究	2021	2021
王維『モウ川集』の研究—詩歌・園林・絵画の融合—	2023	2023

■科学研究費獲得状況

(1) 申請件数、採択件数、採択率

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
申請件数	20件	27件	29件	21件	14件	10件
基盤研究(A)	0件	1件	1件	0件	0件	1件
基盤研究(B)	5件	6件	2件	4件	1件	1件
基盤研究(C)	7件	11件	17件	7件	8件	4件
その他	8件	9件	9件	10件	5件	4件
採択件数	8件	13件	17件	9件	7件	4件
基盤研究(A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	1件	0件	2件	0件	0件
基盤研究(C)	4件	7件	10件	4件	3件	1件
その他	3件	5件	7件	3件	4件	3件
採択率	40.0%	48.1%	58.6%	42.9%	50.0%	40.0%

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(2) 継続研究件数

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
継続件数	27件	22件	26件	35件	40件	39件
基盤研究(A)	1件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	0件	1件	2件	2件	3件	4件
基盤研究(C)	21件	15件	15件	20件	22件	20件
その他	5件	6件	9件	13件	15件	15件

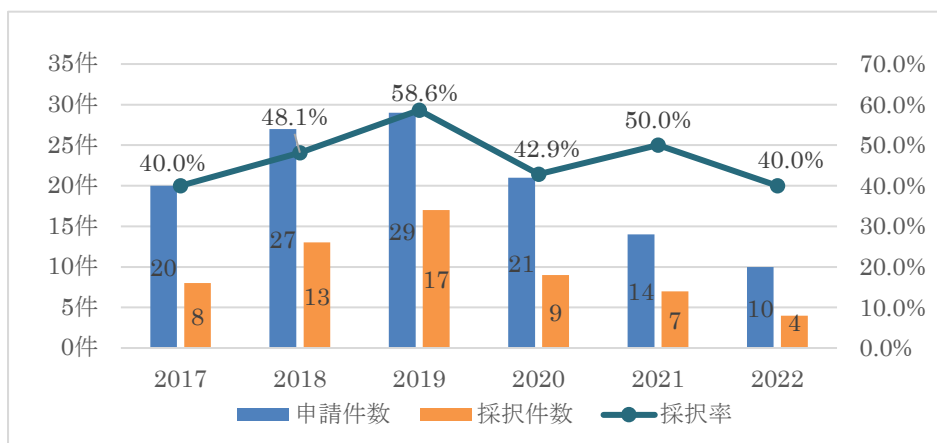
(3) 研究課題数合計

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
合計件数	35件	35件	43件	42件	47件	43件
基盤研究(A)	1件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究(B)	1件	2件	2件	4件	3件	4件
基盤研究(C)	25件	22件	25件	23件	25件	21件
その他	8件	11件	16件	15件	19件	18件

(4) 執行額

(単位：千円)

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
執行額合計	56,031	55,999	63,029	41,003	47,696	44,124
直接経費	43,131	44,047	48,863	23,696	35,663	35,524
間接経費	12,900	11,952	14,166	17,307	12,033	8,600



3-2 学術論文

※執筆者の肩書は執筆当時のものを記載。また、号によっては一部肩書きを省略しているものがある。

■外国学研究（2017～2022年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者	
2019年 12月	93	20世紀東アジア：越境する文学形式と思考の流動	章炳麟と張之洞－交錯する清末の国粹主義－	北京大学中文系 副教授 陸胤
			章炳麟「読仏典雑記」と井上哲次郎編『哲学叢書』	中国社会科学院近代史研究所 副研究員 彭春凌
			少年雑誌の啓蒙性－山縣悌三郎の『少年園』と崔南善の『少年』－	福岡大学人文学部 講師 柳忠熙
			「須講文法」再思	香港教育大学文学及文化学系 助理教授 李婉薇
			魯迅、マンスフィールドと文学的モダニズム－「幸福な家庭」を例に－	北京大学中文系 副教授 張麗華
			周作人「美文」小攷－明治末期の日本文学を材源として－	北九州市立大学外国語学部 准教授 鳥谷まゆみ
			雛形から完成形へ－洪深と中国話劇の「近代」形態の構築－	武漢大学文学院 副教授 裴亮
			他者性を目撃する－「民衆」を記録する一人称の語り－ “土”的再造：战时中国的思想潜流	准教授 津守陽 首都師範大学文学院 副教授 袁一丹
			帝国を引き継ぐ文学形式－1992年以降の日本現代文学における北朝鮮表象、村上龍『半島を出よ』を中心に－	琉球大学法文学部 准教授 呉世宗
			2022年 2月	94
関係的契約理論から見たリニア中央幹線談合事件	教授 田中悟 名古屋大学大学院法学研究科 教授 林秀弥			
入札談合と市場の画定	名古屋大学大学院法学研究科 教授 林秀弥			
政府調達における調達者と供給者間の協調的行動の動機と規制の論理	河南財経政法大学法学研究科 教授 高重迎			

■研究年報（2017～2022年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2017年 12月	56	グローバル化周縁における伝統スポーツ文化研究－神戸市外国語大学・バスク大学第3回国際セミナー－	編者 竹谷和之
		El sentido del deporte tradicional vasco en la era de la globalización	教授 竹谷和之
		グローバル化とスポーツ	立教大学大学院教授 神戸外国語大学客員教授 西谷修
		大相撲のパーспекティヴ－スポーツのグローバル化と伝統－	21世紀スポーツ文化研究所主幹研究員 船井廣則
		Juegos deportivos y emigración vasca: crítica de una educación física global	バスク大学 Joseba Etxebeste Otegi
		Práctica y transformación de las travesías de montaña en Oriente y Occidente	バスク大学 Axier Oiarbide Goikoetxea

		Las actividades físicas orientales en la oferta deportiva de Gipuzkoa	バスク大学 Estibaliz Romaratezabala Aldasoro
		Juego, cultura y educación. Hacia una educación física contextualizada	リエイダ大学 Pere Lavega Burgués
		Apuntes para una filosofía del deporte radical y global	リンフィールド大学 Jesús Ilundáin-Agurruza
		Epílogo	TAKETANI Kazuyuki / Joseba Etxebeste Otegi
2017年 12月	57	NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	編者 Lori ZENUK-NISHIDE
		Introduction to NMUN 2016: Stakeholder Perspectives on Learning Processes and Outcomes	准教授 ZENUK-NISHIDE / 教授 立木 ドナ
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2016	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Large Delegation Preparation through Co-Teaching and Co-Learning	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE / 京都外国語大学教授 Craig SMITH
		Pedagogical Meaning of the Cultural Visits for the Host University Volunteers: Through the Eyes of Leaders	教授 玉井 健
		Stakeholder Perspectives on NMUN Ceremonies	教授 立木 ドナ
		The UN Forum and Faculty Lecture at NMUN: Bringing Expertise to MUN Simulations	教授 立木 ドナ/ 准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		National Model United Nations and the First Student Press Corps: With a Thought on Journalism Education at Japanese Universities	准教授 繁沢 敦子
		NMUN Japan 2016: Sustaining Multilateralism, Cross-cultural Learning and Domestic Cooperative Internationalism	マキュアン大学准教授 Chaldeans MENSAH
		A Wonderful Experience in Japan for the German Joint Delegations from Erfurt and North Rhine-Westphalia	エアフルト大学 Sarah DURYEA / Thomas WEILER
		Improving the Interactions of English as a Lingua Franca (ELF) Users and Native Speakers of English	教授 立木 ドナ
		Diversity as a Catalyst for Competency Development through Model United Nations Classes	ウェストファーレン大学 Andreas MÜGLICH / Anna SEIDEL
		Model UN Class at University of Trier and Erfurt, Germany	トリーア大学 Ronny HEINZE
2018年 12月	58	MUN Perspectives on Teaching and Learning: A Focus on Negotiation	編者 教授 立木 ドナ / 准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		Interest-Based Negotiation and MUN: Equipping Youth with Appropriate Tools for a Better World	マーシー大学 Michiko KURODA
		Research is Key to Model United Nations Writing, Negotiating and Public Speaking	准教授 Lori ZENUK-NISHIDE
		ELF in MUN Negotiations: Problematizing the Native Speaker of English	教授 立木 ドナ
		Using Getting to Yes to Teach English, Negotiation, and Other 21st Century Skills	カリフォルニア大学バークレー校 Barrie J. ROBERTS
		Speech, Drama, Debate, Negotiation, and the Model United Nations	南山大学 David KLUGE
		Debating at School in Italy	National Institute for Documentation, Innovation, Educational Research Letizia CINGANOTTO
		Improving Student Involvement in Discussions	甲南大学 Takara K. ALLAL-SUMOTO
		The Evolving Argument: Negotiating Improved Academic Writing Skills and Class Cohesion	名古屋大学 Robert Joel DEACON

		Negotiating the Challenges of Studying Abroad	神戸学院大学 Anthony C. TORBERT / Noriko NAKANISHI
2019年 12月	59	Language Policy, Innovations and Practices: A Tale of Two Countries	Editor Donna TATSUKI
		Introduction to Language Policy, Innovations and Practices : A Tale of Two Countries	Donna TATSUKI
		Historical Overview of Foreign Language Policies in Japan	Donna TATSUKI
		Current MEXT Policies and Goals : The New Course of Study for Elementary Schools	Keiko HARUOKA
		MEXT Policies and Learning Experience : Lifelong Learners of Languages other than English	Emi SHIBUYA
		Agents of change or products of compromise? How Japanese senior high school EFL textbooks (mis)represent foreign language curriculum reform	Gregory Paul GLASGOW / Daniel Leigh PALLER
		The Expected and Unexpected Failures of the Global 30 Program	Michael HOLLENBACK
		Higher Education Reforms : The Italian Case	Anna ROMAGNUOLO
		Teaching Practices and Learning Outcomes : Voices from the Field	Alba GRAZIANO / Patrizia SIBI
		Current Educational Policy in Italy : A Focus on Language Learning and CLIL	Letizia CINGANOTTO
2019年 12月	60	Topics in Middle Mekong Linguistics	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		The word for 'snake' in Thamarou, Bolyu, Bit, Kra, Jiamao, and Oceanic: A Lapita Connection?	James CHAMBERLAIN
		The Ethnopoetics of Sida Animal Names	Nathan BADENOCH
		Animal nomenclature in Jinghpaw	Keita KURABE
		Notes on Faunal Terms in At Samart Saek	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		Karen and Surrounding Languages	Atsuhiko KATO
		The Differences between the Tay and Nung Languages in the Trang Dinh District of Lang Son Province	Ayaka HIRANO
		On Two Venitive Verbs in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2021年 2月	61	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		A Note on the Paleo-Ethnoherpetology of Giant Softshell Turtles (Trionychidae) in Kra-Dai and Austronesian	James R. CHAMBERLAIN
		Fishing the Uplands: A Linguistic Perspective on the Ethno-Ichthyology of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		The Phonology, Morphology, and Semantics of Burmese Zoonyms	Keita KURABE
		A Preliminary Report on Entomological Vocabulary in Sani Yi	Kazue IWASA
		A Wordlist of Akha Buli Fauna with Reference to Areal Linguistics	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Grammaticalization of Some Verbs in Serial Verb Constructions in Nung	Ayaka HIRANO
		Impersonal Construction with the Noun 'Thing' in Subject Position in Pwo Karen	Atsuhiko KATO
2021年	62	Max Horkheimer's Early Critical Theory, and Critical ELT	Robert J. LOWE

12月		research	
		Exploring Orientalist discourse in ELT research in Japan	Michael HOLLENBACK
		De-nativizing academic writing in Japanese ELT:Toward a translingual approach	Yuzuko NAGASHIMA/ Luke LAWRENCE
		The preservation of native-speakerist ideology	Xinqi He
		Irrationality in the Consumption of English:The Case of Eikaiwa Advertising in Japan	William SIMPSON
		Policy and gender inequity in Japanese higher education	Tanja McCANDIE
2022年 11月	63	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 1 Comparative and Historical Glimpses of the Lacertilia (Lizards) in Tai: A Reconstructive Problematic	James R. CHAMBERLAIN
		Chapter 2 “Crocodiles and dragons” : Fauna and Folklore in the Forests of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		Chapter 3 naaŋ nok kuək kap cɣas Lady Bulbul and the Ngeuak	Nathan BADENOCH
		Chapter 4 A Sketch of the Mammal Terms of Muang Sing Lolopho with Reference to Dialectal Comparison	Norihiko HAYASHI
		Chapter 5 Continuity and Change in the Duodenary Cycle:Language Contact in the Laos-China Border Area	Nathan BADENOCH Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 6 Eastern Pwo Karen Verb Particles Indicating ‘Up’ and ‘Down’	Atsuhiko KATO
		Chapter 7 A note on taA-/təA- in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI

■研究叢書（2017～2022年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2017年12月	第60号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅰ）本文篇	教授 竹越 孝
2018年12月	第61号	『一百條』・『清文指要』対照本（Ⅱ）補遺・索引篇	教授 竹越 孝
2019年12月	第62号	16世紀スペイン文学の傍流-エラスムス主義の影響の射程-	教授 野村竜仁
2020年12月	第63号	『老乞大』四種版本対照テキスト	教授 竹越 孝
2021年12月	第64号	満漢成語對待校注	教授 竹越 孝
2022年12月	第65号	五巻本『庸言知旨』校注	教授 竹越 孝

※執筆者の肩書きは執筆当時のもの。

3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

■Research Project A（共同研究・研究交流を支援する）（2018～2023 年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018 年度	教授 立木 ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4 年
2019 年度			
2020 年度			
2021 年度			
2022 年度	准教授 Hollenback, Michael David	National Model United Nations Japan 2022 - UN Forum	2 年
2023 年度			

■Research Project B（研究会・討論会の開催を支援する）（2019～2024 年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2019 年度	教授 難波江 仁美	プラグマティズム再考：ジェイムズ兄妹とモダニティ	4 年
2020 年度			
2021 年度			
2022 年度			
2019 年度	教授 田中 悟	公共調達をめぐる協調行動に関する法と経済学的研究 —関係的契約 (relational contract) の視点から—	3 年
2020 年度			
2021 年度			
2021 年度	教授 金子 百合子	ロシア語専攻授業と連動した自律学習オンライン教材の 開発	3 年
2022 年度			
2023 年度			
2023 年度	教授 竹越 孝	アジア諸言語の接触と変容：通時的・共時的観点からのア プローチ	2 年
2024 年度			

■Research Project C（科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する）（2018～2023 年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018 年度	准教授 L.Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1 年
2020 年度	教授 山口 征孝	社会言語学から文化概念を問い直す—英米系長期在留者 へのインタビュー分析を通して	1 年
2023 年度	講師 松田 裕美	ポストパンデミックの国際開発教育とグローバルシチズ ンシップ教育の融合モデル探求	1 年

■国際会議・セミナー等開催支援（2018～2023 年度）

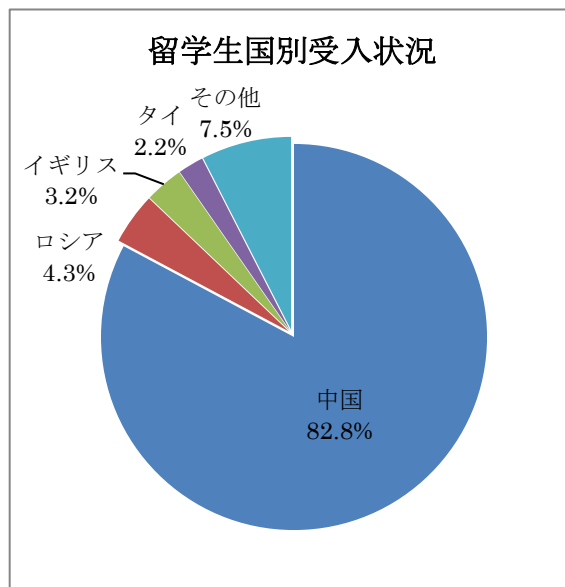
採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2019 年度	教授 任 鷹	The 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (国際中国語学学会第 27 回年次大会：IACL-27)	2019/5/10～12
2022 年度	准教授 Hollenback, Michael David	National Model United Nations Japan 2022	2022/11/20-27

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2022年5月1日現在）

国・地域	学部生	交流留学生 (日本語プログラム)	大学院生 (修士課程)	大学院生 (博士課程)	研究生	外国人研究生	合計
中国		2	41	22		12	77
ロシア		3	1				4
イギリス		3					3
タイ				1		1	2
スペイン				1			1
ベラルーシ		1					1
台湾				1			1
韓国						1	1
ベトナム			1				1
インド	1						1
モンテネグロ						1	1
合計	1	9	43	25	0	15	93



■学生の海外留学等状況

【交換留学（2017～2022年度）】

国名	留学先	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	-	-	-	/	1	-
	オーガスタナ大学	2	1	1	0	2	0
イギリス	ニューカッスル大学	2	2	2	0	5	1
	ヨークセントジョン大学	2	2	2	0	4	2
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	0	2	2	/	0	0
カナダ	メディシンハット大学	1	1	1	0	1	1
	レジャイナ大学	2	2	1	0	1	1
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	4	2	2	/	1	0
	ミュンヘン大学	2	1	2	0	2	0
ロシア	クバン国立大学	2	2	2	0	1	0
	ウラル連邦大学	1	1	1	0	1	0
	太平洋国立大学	2	1	2	0	/	0
カザフスタン	カザフ国立大学	-	-	2	/	1	1
中国	天津外国語大学	1	1	1	/	/	/
	東北師範大学	2	2	2	/	/	2
	北京語言大学	2	2	2	0	0	2
スペイン	サラマンカ大学	2	2	2	0	2	1
	サラゴサ大学	2	2	2	0	1	2
	マドリード自治大学	1	0	2	0	1	1
交換留学合計		30	26	31	6	27	15

※斜体はオンライン留学

【長期派遣(認定)留学(2017~2022年度)】

国名	留 学 先	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アメリカ	イースタンワシントン大学	2					1
	ウェバー国際大学		1				
	オレゴン州立大学			1			
	カリフォルニア州立大学チコ校	1					
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校			1			
	サンディエゴ州立大学						1
	セントクラウド州立大学						1
	テネシー工科大学						1
	ニューヨーク州立大学オールバニ	1					
	ノースアラバマ大学			1			1
	バークレー大学		1				
	ハートウィック大学		1	1			
	バルパライソ大学		1				
	ハワイ大学	1					
	ペンシルベニア州立大学		1				
	リンデンウッド大学ベレヴィル	1					
イギリス	エセックス大学		1				
	ノーサンブリア大学			1			
	ブリストル大学	1					
	ヨークセントジョン大学			1			1
	リーズ大学	4	2	1		1	
オーストラリア	グリフィス大学		1	1			
	サザンクロス大学	1	2	2	1		
	スウィンバーン工科大学				1		
	ニューサウスウェールズ大学		1				
カナダ	メディシンハット大学	3	1			1	1
マレーシア	サンウェイ大学						1
ロシア	カザン大学	1					
	極東連邦大学			1			
	クバン国立大学	1					
	ゲルツェン記念ロシア国立教育大学		1				
	サンクト・ペテルブルク大学	3					
	太平洋国立大学	1					
	国立プーシキン記念ロシア語大学	2	2	2			
	モスクワ国立大学	3		2	1		
	リャザン国立大学	1					
	ロパチェフスキー州立大学 ニジノヴゴロド	1					
中国	厦門大学			1			

	華東師範大学		1	2			
	上海師範大学	2		2			
	浙江大学			1			
	大連理工大学		1				
	天津大学			1			
	天津外国語大学				1		
	東北師範大学	2	2	2			
	復旦大学	5	3	2			1
	北京語言大学	5	3				
	北京師範大学		1	1			
	広東外語外資大学						1
台湾	国立台湾師範大学						3
	輔仁大学						1
	国立台湾大学					1	
スペイン	アルカラ大学	1		1			4
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1					
	サラゴサ大学					2	
	サラマンカ大学	1				2	3
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1		1			
	国立通信教育大学	2					
	パブロ・デ・オラビデ大学			1			
	マドリード自治大学			1			
	マラガ大学	1					
メキシコ	メキシコ国立自治大学						1
認定留学 合計		49	27	31	4	7	22

※斜体はオンライン留学

【スペイン語圏派遣留学（2017～2022年度）】

国名	留学先	2017	2018	2019	2020	2021	2022
スペイン	アルカラ大学		2	3	不催行	3	1
	オルテガ・イ・ガセット国際教育センター	1	2		不催行	2	
	ラ・リオハ大学	5	3	1	不催行		5
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2	2		不催行		
スペイン語圏派遣留学合計		8	9	4	0	5	6

【短期派遣留学（2017～2022年度）】

国名	留学先	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アメリカ	UCLA Extension	6	5	2	不催行	3	5
オーストラリア	アメリカ・インスティテュート	13	28	21	不催行	不催行	18
ロシア	モスクワ大学(夏季)	4	3	2	不催行	3	不催行
	モスクワ大学(春季)	5	2	4	不催行	不催行	不催行
中国	北京語言大学	4	7	2	不催行	2	6
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	2	5	不催行	不催行	不催行	休止
	国立通信教育大学(春季)	2	1	不催行	不催行	不催行	休止
短期派遣留学合計		36	51	31	0	8	29

※斜体はオンライン留学

※別途「荻野スカラシップ」奨学金制度で、下記のとおり休学留学実績あり。

2018年度・・・シンガポール国立大学（1名）

2019年度・・・中国人民大学（1名）、サンクトペテルブルク国立大学（1名）、グリフィス大学（1名）

2022年度・・・ライデン大学（1名）

※2020年度の留学はすべてオンラインで実施（春渡航者も帰国後オンラインに切り替えて修了）

※オルレアン大学（フランス）は交換留学提携校であるが、開講科目がフランス語のみであるため休学で派遣し長期留学の派遣実績にはカウントしない。

【休学による留学・語学研修等（2022年度実績：大学把握分）】

	大学学部・短期大学	ランゲージセンター等の 大学附属施設	民間等の語学学校	専門学校レベル	不明・その他	合計
アイルランド	1	2	7			10
アメリカ合衆国	10		2			12
アラブ首長国連邦			1			1
オーストラリア	3	1	14	2		20
カナダ	6		28	21		55
クロアチア	1					1
スペイン	8		3	1		12
チェコ	1					1
デンマーク	1				3	4
フィリピン			6			6
フランス		1				1
ポーランド		1				1
マルタ	1		7			8
マレーシア	1					1
メキシコ	1	1	1			3
ルワンダ	1					1
英国	3		14		1	18
韓国	1	2				3
台湾	3	5	1			9
中国	3					3
合計	45	13	84	24	4	170

【海外インターンシップ】

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
city' super 香港インターンシップ派遣プログラム	2	2	2	0	0	0
上海インターンシップ	0	8	12	0	0	0
JETRO サンフランシスコ事務所プログラム	-	1	0	0	0	0

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

第9期 2018 前期	第10期 2018 後期	第11期 2019 前期	第12期 2019 後期	第13期 2020 前期	第14期 2020 後期	2021 前期	2021 後期	2022 前期	2022 後期
2	2	0	3	募集中止	1	募集停止	募集停止	募集停止	募集停止

※第12期採用者3名のうち2名はコロナ禍により渡航できず辞退。1名のみ、2021年11月より留学を開始。

※第14期採用者はコロナ禍により留学開始を延期し、2022年1月より留学を開始。

※2021年度以降、募集は機構の判断により停止していたが、2023年度より第15期が再開。

4-2 国際交流協定

■学生・教員の交流協定締結機関（2023年3月末現在）

計 17 カ国 46 大学・機関 ☆は 21 年度の新規提携、★は 22 年度の新規提携

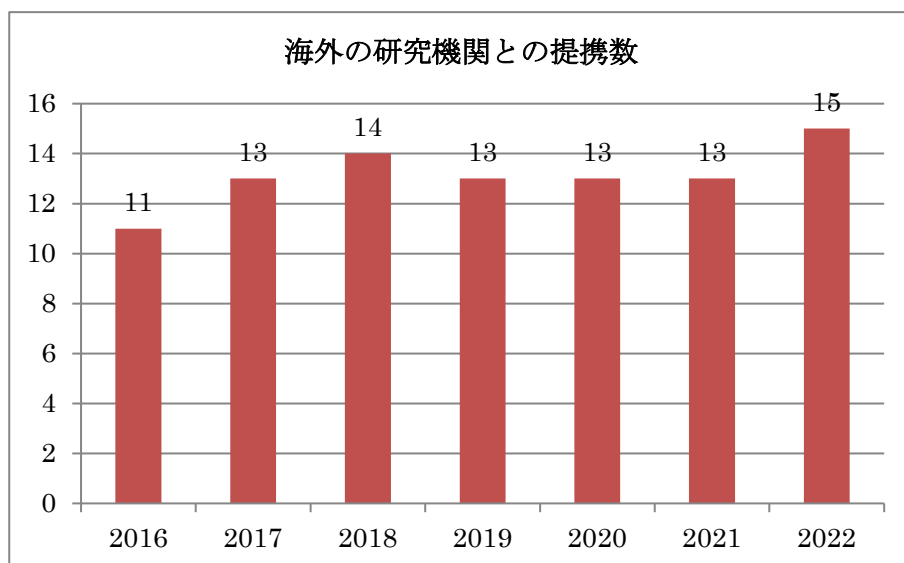
国名	大学名	初回締結	学生交換	認定	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	※	○		
	エルマイラ大学（ダブルディグリー）	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	若干名	○		○
	オレゴン州立大学	2019.1		○		
	★UWCC（ワシントン大学コンティニュームカレッジ）	2022.12				○
英国	リーズ大学	2007.9		○		
	ノーサンブリア大学	2011.11		○		
	ニューカッスル大学	2014.7	3	○		
	ヨークセントジョン大学	2015.8	2	○		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2			○
ウズベキスタン	★世界言語大学	2023.3	2			
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学（ダブル・マスターのみ）	2014.3	院生 5			
	ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	サザンクロス大学	2015.7		○		
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	2010.5			○	
カザフスタン	カザフ国立大学	2018.7	2			
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	※	○		
	レジャイナ大学	2012.1	※	○		
キルギス	★公益法人キルギス日本人材開発センター	2023.3			○	
スペイン	オルテガ・マラニオン国際教育センター トレド	1989.11		○		
	アルカラ大学	1994.6		○		○
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	ラ・リオハ大学	2007.10		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		○	○	
	サラマンカ大学	2013.6	2	○		
	マドリード自治大学	2014.1	1	○		
	サラゴサ大学	2014.10	2	○		
	ナバラ大学（ダブル・マスターのみ）	2018.11		院生		
台湾	★台湾師範大学	2023.2	2	○		
中国	天津外国語大学	1983.7	1	○		
	復旦大学	1995.12		○		○
	北京語言大学（15年度学生交換開始）	2008.9	1-2	○	○	○
	東北師範大学（15年度学生交換開始）	2011.12	1-2	○		○
	上海師範大学	2012.10		○		○
	☆南開大学（ダブル・マスターのみ）	2022.2	院生			
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2			
フランス	オルレアン大学（交換留学は休学が必要）	2020.12	2			○
ブルガリア	★ソフィア大学	2023.2	2			
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ロシア語ロシア文化学院	1967 2006.2		○	○	○
	ウラル連邦大学	2015.4	2	○		
	クバン国立大学	2015.4	1-2	○		
	太平洋国立大学	2016.7	1-2	○		

- ・学生交換協定の※印は、相手方から交換留学生の派遣があった時のみ、当方の学生を受け入れ。
- ・ナバラ大学とのダブル・マスターは本学からの派遣のみ。
- ・オルレアン大学は、派遣については休学扱い。

■海外の研究機関等との提携（2023年3月末現在）

11カ国・地域、15大学・機関

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
ロシア	クバン国立大学	2015.4	
スイス	ベルン大学	2015.10	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術協力（交流）に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
スペイン	ナバラ大学	2018.3	
インド	インド工科大学 グワハーティー校	2019.2	
中国	南開大学文學院	2019.8	2022年2月、大学院の学生交換協定を締結
ブルガリア	ソフィア大学「聖クリメント・オフリドスキ」	2022.10	
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	2022.12	
台湾	台湾師範大学	2023.3	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

【神戸市の行政、団体などとの協力（5機関）】（2023年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中学校、高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際協力交流センター	市民の国際理解教育などの事業協力（神戸市国際交流フェアへの本学協力や、本学の市民対象のオープン・セミナーの三宮会場提供など）
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。
神戸新聞文化センター	公開講座の共同開催。

【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】（2023年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業。
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業。
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業や共同研究、地域の市民や高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業。
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力。
全国外大連合	教育研究の内容に応じた様々な連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上。

5-2 市民講座・公開講座等

■神戸市外国語大学提携講座

2018年8月に神戸新聞文化センターと連携協力に関する協定を締結し、2018年度後期より「市民講座」、「オープンセミナー」を統合し、「神戸市外国語大学提携講座」として神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講している。

2022年度実績（3講座 25名）

	講座名	講師	回数	受講者数
前期	日本の今を経済学で読み解く ～労働・企業・経済・貿易～	千葉 典 教授 森谷 文利 准教授 鎔谷 宏一 准教授 石柁 義和 准教授	全4回	中止
	辞書を使いこなして英文を味わう	萩澤 大輝 (博士課程3年、 本学非常勤講師)	全12回	9名
後期	「身体」の哲学 入門編	阿部 将伸 准教授	全4回	5名
	ロシア人の生活と文化を読み解く ～ロシア語基礎も学ぶ～	柚木 かおり (非常勤講師)	全12回	11名

■公開講座（ユニティ）

ユニティに加盟する5大学1高専が、得意とする分野をテーマに、毎年市民を対象とした講座を開講している。

2022年度実績（受講者数 85名）

「グローバル化時代における法と政治」 2022/11/12～12/10 毎土曜日	
1) 日本の対東南アジア外交：経済・安全保障・人的交流	木場紗綾・准教授
2) LGBTと法	後友香・講師
3) 感染症と国際法、国際組織	広見正行・准教授
4) ロシアのウクライナ侵攻と国際法	広見正行・准教授
5) 生殖補助医療と法	後友香・講師

※ユニティ・・・神戸の学術文化の拠点として、神戸研究学園都市周辺にある5大学1高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営している。

5-3 学生ボランティア活動

■2022 年度学生ボランティア活動実績

分野	分野別 人数	内容
国際協力	228	外国人留学生、中国帰国者の日本語学習補佐、留学生の日本語学習補佐、外国人来場者の通訳と、イベントの運営手伝い、外国人留学生による自国紹介など、古本を回収し、その売却益を世界食糧計画に寄付
子どもの教育・生活	151	小学 5.6 年生を対象に英会話レッスンを通じ英語の楽しさを伝える、神戸市立中学校生徒の学内引率と異文化紹介、お習字の練習サポート、中学生の SDGs 勉強会で、学生サークルの活動を紹介、生活保護世帯の子どもの学習支援、進路相談、子どもの見守りと遊び相手、幼児、小学生に対面で「英語でなかよし」を実施、幼児の英語学習サポート、子どもたちが楽しく学べる企画の立案と実施、小学生の学習指導補助、生活困窮世帯の中学生の宿題や学習のサポート、神戸市立小学校での児童の英語学習のサポート、不登校児童、生徒の話し相手と学習支援、「しあわせの村」での子ども向けイベントの企画、運営、0 歳～2 歳児の親子の子育て支援
お年寄り支援	107	外大近隣に暮らすお年寄りとのお便り交流、外大近隣に暮らすお年寄りの方とのおしゃべり交流、外大近隣に暮らすお年寄りのお宅に伺って、おしゃべり交流
地域振興支援	80	ステージ出演協力、イベントでの当日運営手伝い、地域住民自治会の HP 作成協力、西区が実施する事業の企画・運営、伐採後の竹を短くカット、共同募金のブース運営手伝い、地域の活性化や課題解決に向けた方策の検討と実践
障がい者支援	8	障がい者の職業技能競技会お手伝い、視覚障がいのある院生の修学支援、障がい者の作成した商品の販売手伝い、知的障がい者の方々との交流
環境保護	7	イベント当日の運営手伝い
芸術振興	1	フェスティバルの運営手伝い
消費生活啓発	1	地下鉄駅構内等公共施設での消費生活啓発アナウンス
合計	583	

<学生の大学サポート活動>

分野	分野別 人数	内容
模擬国連	190	京都・広島への文化視察運営、教員ツアー等各種イベントの運営、参加者への記念品作成、配布、総合受付、高校生・教員・保護者向けの会議見学ツアー運営、模擬国連世界大会（神戸大会）での式典運営、写真・動画撮影、エンディング動画の作成
学内外国人留学生支援	71	JLP 生の本学での活動の全般サポート
オープンキャンパス	34	オープンキャンパスでの来訪者対応
花植え	28	学内花壇への植栽
国際交流	4	学内外の交流イベントの企画運営
合計	327	

6 教職員

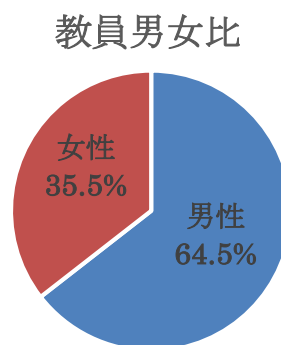
6-1 教員数

■職位別（2022年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		12	4	2	18
ロシア学科		3	4		7
中国学科		4	2		6
イスパニア学科		3	2		5
国際関係学科	1	9	10	2	22
総合文化グループ		10	7	1	18
合計	1	41	29	5	76

■男女別（2022年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	12	6	18
ロシア学科	4	3	7
中国学科	4	2	6
イスパニア学科	2	3	5
国際関係学科	14	8	22
総合文化グループ	13	5	18
合計	49	27	76



■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2022年5月1日現在）

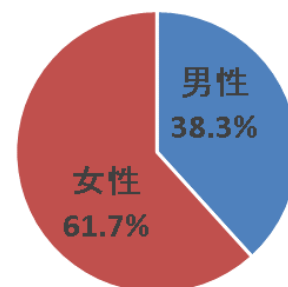
	人数	割合
全教員	76人	
①外国籍の教員	12人	15.8%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	17人	22.4%
③外国で通算1年以上（3年未満）の教育研究歴がある日本人教員（非②）	17人	22.4%
④外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員（非②）	4人	5.3%
①～④の合計	50人	65.8%

6-2 職員数

職員男女比

■所属別・男女別（市派遣・固有・契約・パート、2022年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営 G	17	14	31
学生支援・教育 G	5	20	25
研究所 G	5	11	16
学術情報 G	4	5	9
合計	31	50	81



7 財務状況

■財務状況の推移

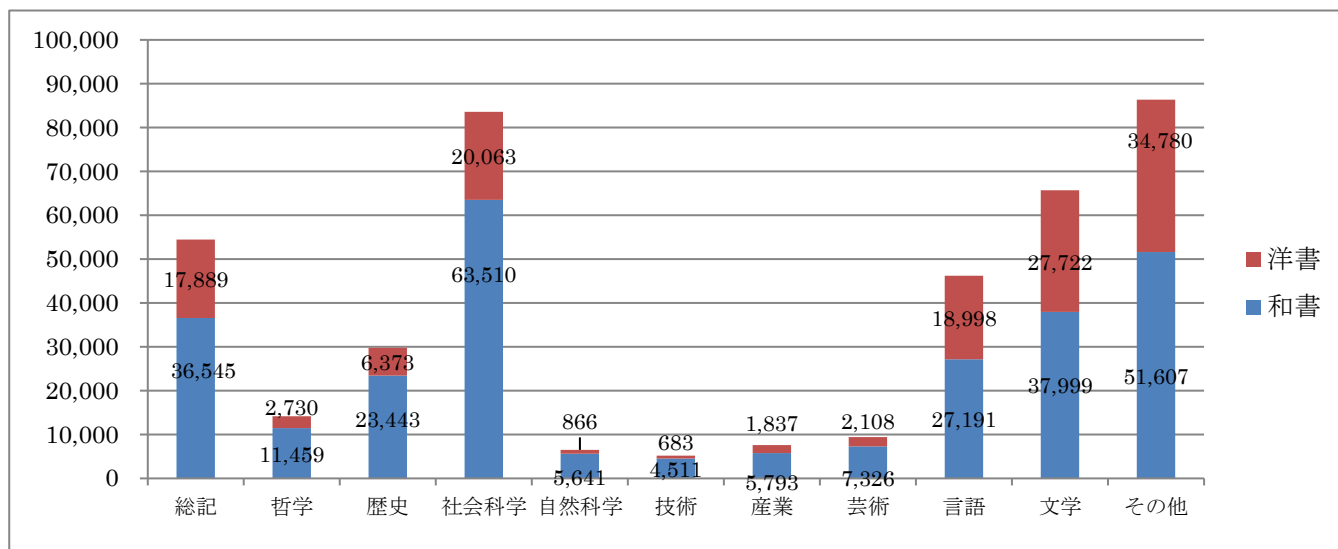
(単位：百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常費用	2,438	2,339	2,346	2,431	2,499	2,730
業務費	2,183	2,154	2,124	2,164	2,181	2,350
教育経費	230	256	248	376	341	420
研究経費	60	61	64	53	54	50
教育研究支援経費	83	67	68	69	72	76
受託研究費	-	0	-	1	3	12
受託事業費等	0	0	0	-	0	2
共同研究費	-	-	3	1	1	1
人件費	1,810	1,769	1,740	1,665	1,711	1,790
役員人件費	99	65	81	149	82	132
教員人件費(常勤)	1,096	1,096	1,021	885	965	971
教員人件費(非常勤)	162	167	175	167	185	193
職員人件費(常勤)	327	315	334	329	351	402
職員人件費(非常勤)	127	126	129	135	127	92
一般管理費	253	184	219	260	311	374
その他の費用	1	1	4	6	6	6
財務費用	1	1	4	6	6	5
雑損	-	-	-	-	-	0
経常収益	2,485	2,380	2,411	2,524	2,455	2,635
運営費交付金収益	1,162	1,102	1,098	1,218	1,101	1,314
学生納付金収益	1,168	1,128	1,149	1,174	1,184	1,111
授業料収益	955	904	933	966	976	909
入学金収益	182	185	184	174	176	169
検定料収益	31	38	33	34	32	33
受託研究収益	-	0	-	1	4	14
受託事業等収益	0	0	0	-	1	2
共同研究収益	-	-	3	1	1	1
補助金等収益	0	0	0	1	1	3
寄付金収益	9	9	17	11	41	54
資産見返負債戻入	82	80	81	85	86	86
その他の収益	63	60	62	33	37	50
財務収益	2	2	2	2	2	5
雑益	61	58	60	31	35	46
経常利益(損失)	47	41	65	93	△44	△95
臨時損失	-	0	-	-	0	21
臨時利益	-	19	-	1	0	0
当期純利益(損失)	47	60	65	94	△44	△116
前中期目標期間繰越積立金取崩額	14	14	12	4	49	147
目的積立金取崩額	9	-	-	-	-	65
当期総利益(損失)	70	74	77	97	5	97

※四捨五入により合計が合わない場合がある。

8 図書館

■蔵書冊数：409,074冊（和書：275,025冊 / 洋書：134,049冊）（2022年度）



■図書館利用状況（2017～2022年度）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
入館者数（人）	157,350	151,273	143,534	32,328	44,368	81,724
貸出冊数（冊）	44,625	42,462	39,459	21,071	20,748	33,422

2022年度入館者数（内訳：人）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
入館者数	59,948	3,875	13,984	791	3,126	81,724

2022年度貸出冊数（内訳：冊）

区分	学部生	大学院生	教職員	卒業生	市民	合計
貸出冊数	21,267	3,363	4,584	807	3,401	33,422

2022年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	204	152	3,126	3,401